

## 令和7年度 第6回 揖斐川町教育委員会（議事録）

1 日 時 令和7年9月29日（月） <開会> 午後2時00分 <閉会> 午後4時00分

2 場 所 揖斐川町役場（3階）研修室

## 3 出席者

教育長 香田 静夫

教育委員 折戸 克明（教育長職務代理）、小林 直樹、松井 乃里子、八幡 雅夫

事務局 事務局長 所 貴宏、学校教育課長 富山 哲成、社会教育課長 松久 秀紀

学校教育課 課長補佐 高橋 由利、係長 松浦 亮太

## 4 次 第

## (1) 開 会

- ・ 揖斐川町教育委員会会議規則（第7条）に基づいて、会議の開会を宣告する。
- ・ 本会議事録の署名については、規則第19条により、小林 直樹委員を指名する。
- ・ 本日の予定は、諸般の報告と事務局からの連絡、閉会後に研修を行うこととする。
- ・ 本日の議事については、規則第21条に定められた非公開案件が1件。

## (2) 諸般の報告（教育長）

- ・ 揖斐川町では、9月16日（火）14:00より、「不登校児童生徒等の自立支援の充実に向けた連携に関する協定」を学校法人西濃学園と締結した。
- ・ 連携事業の一環として、令和7年度「不登校生徒のための大人の勉強会」を西濃学園と揖斐川町教育委員会との共催で開催することとなった。不登校児童生徒への支援の充実に向けた教職員研修として実施する。

<日 時> 12月23日（火）13:00～16:00 <会 場> 地域交流センター多目的室①

- ・ 第1回「岐阜県総合教育会議」にオンライン視聴で参加した。「異学年集団による学び合い」を県として推進していくとの説明があった。特に、縦割り学年集団での遊びや清掃といった活動ではなく、学習領域として教科の授業において異学年集団を組織し、児童生徒が学び合う活動を取り入れることにチャレンジすることになる。今後、市町村教育委員会を通じて学校を指定し取組みを進めていくことになる。
- ・ 教職員の働き方改革の進捗について、学校における時間外勤務は確実に減少しているが、本来の目的である、子供たちと向き合い、指導の充実を図ることにつながっているかを今後検証していく必要がある。例えば、「学校・教師が担う業務に係る3分類」のうち、①必ずしも教師が担う必要のない業務（校内清掃）及び、②教師の業務だが負担軽減が可能な業務（給食指導）については、学校運営協議会を中心に、地域の皆さんの協力を得ることができるよう、取組みを具体化したい。
- ・ 令和8年度新規事業として、「クラウンロードがつなぐ二つのふるさと事業」を実施する方向で検討している。これまで福井県池田小学校と本町の北方小学校がオンライン授業等で交流してきたが、新たな文化の創出をテーマに、「木育」「健康」「防災」といった両町の強みを活かしながら地域課題の解決につながる探究的な学びが実践されるよう、指導計画を準備していきたい。

## (3) 議 事

議第12号「令和7年度要保護及び準要保護の児童生徒の追加認定について」（非公開）

議第13号「揖斐川町不登校生徒支援事業補助金工夫要綱の一部改正について」

議第14号「揖斐川町地域交流センターの設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について」

議第15号「揖斐川町文化財指定の解除について」

## (4) 連絡事項 等

## &lt;事務局関係&gt;

- ・ 揖斐川町議会9月定例会（以下、9月議会）において提出された36議案はすべて可決

- ・ 9月議会一般質問において、教育委員会関連の質問は3件
  - ① 教材費の一部無償化、地域学校協働活動の強化について
  - ② 揖斐川町における「包括的性教育」について
  - ③ 熊出没時における教育現場や公共施設での現在の対策と今後の課題について

#### <学校教育課関係>

- ・ 令和7年度岐阜県市町村教育委員会連合会研究総会の参加予定について
- ・ 揖斐川町教育委員会指定研究発表会について
- ・ 中学生と町長が語る会について
- ・ 中学生海外研修派遣事業の進捗

#### <社会教育課関係>

- ・ 「アートいびがわ」について
- ・ いびがわマラソン2025について  
大会エントリー数は、5,199名（8月17日〆切）
- ・ いびがわ地域クラブ活動状況（令和7年8月からの新組織）について
- ・ ねんりんピック岐阜2025 ソフトボール交流大会について
- ・ 各地区公民館運動会等について

#### 5 次回の教育委員会定例会の開催

日時：10月28日（火） 15時30分～

場所：揖斐川町役場（2階）第3会議室

#### <議長（教育長）>

- ・ 閉会を宣言する。  
全員異議なし

以上、閉会

署名 \_\_\_\_\_